

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市は「創生」できるか（30分）</p> <p>市は、平成27年度中に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」計画を提出しようとしています。この作成にあたっては“審議会”も設けず、さらには昨年12月「市民コメント」を募ったが意見はゼロとのことであった。重要業績評価指標（KPI）も示されているがどうしたら実現できるか抽象的な言葉の羅列では、市民は意見を出しようがないのが現状ではないか。</p> <p>問題は、鶴ヶ島市の「創生」に向けて何を、どうすれば成功するか具体的な道筋が必要です。</p> <p>（1）合計特殊出生率を上げることは急がれる課題です。国や県より極端に悪い当市の1.15という数字は埼玉県40市中何番目か。この計画期間中にすでに当市の児童・生徒の大幅な減少に現れてきています。（平成27年3月の“鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画”）こうした現状の下で将来を見すえて提起できる施策は何か、この分野で、平成27年度の加速化交付金、平成28年度の新型交付金を申請するものがあるか。</p> <p>私は、乳児家庭全戸訪問事業は、市の優れた施策であると思っています。2回、3回と充実をさせつつ、同時に、近隣の産科医・産婦人科医との連携、不妊治療への援助、出産祝い金の第一子から50万円の支給、保育料の助成・学校給食費への助成などなどが必要と思っています。</p> <p>（2）次に、人口の社会増をどう図っていくかと言う問題です。</p> <p>埼玉県市町村のなかの鶴ヶ島市の社会増減数（＝日本人住民 平成25年1月から12月）のランキングはどうなっていますか。このための施策展開は。</p> <p>（3）農業問題は、首都圏をひかえた鶴ヶ島市の農業と言う点と観光事業を視野に入れればとりわけ重要です。鶴ヶ島の農業を活性化させるために「有機の里」構想は、極めて大切と思います。「総合戦略」に位置づけ「交付金」の申請をおこなうべき一つと考えますがいかがですか。</p> <p>（4）“すえながく鶴ヶ島にすみ続けよう”“すみ続けられるまちに”また、防災・耐震化のまちにするためにもさらには苦境に追い込まれている弱小</p>	<p>答弁を求める者</p> <p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>建設業者の仕事確保という視点も含めて「住宅リフォーム」制度の創設は大切です。特に、鶴ヶ島市のように爆発的人口増があつて大規模に住宅建設されてから40年前後経つ市という特徴から充分、総合戦略化の交付金の対象になるものです。いかがですか。</p> <p>2 県立農業大学校について（20分）</p> <p>昨年3月に県立農業大学校が熊谷に移転して1年経ちます。面積は39万2000平方メートルの膨大な土地です。昨年12月にこの土地をすべて工業系（ゾーン）の土地にしました。70年以上この地を占拠されてきた鶴ヶ島市は、当然、県に対して固定資産税も入らず、利用もできなかった見返りを求めるべきではありませんか。その後の県の動き、県が全面工業系地域にするとした時の市の対応を含めてお尋ねします。</p>	市長
<p>3 市長の進退について（10分）</p> <p>昨年3月に市長の醜聞を伝えたチラシ報道、飛び交ったメールなどに対して市長は認め、陳謝しました。それから1年経ちますが、特に市職員のモチベーション（意欲）の低下が見られるようです。不適切な女性問題の責任を取り、進退を明確にすべきですが。</p>	市長